

令和6年度指定管理者評価シート

1 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市武蔵浦和コミュニティセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市南区別所7-20-1</p> <p>②施設の設置目的 市民のコミュニティ活動のための施設</p> <p>③施設の概要 【開館】平成25年1月4日 【構造】鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造 地下1階 地上10階建のうち8・9階部分 【延床面積】1847.97㎡ 【主要施設】多目的ホール(定員194名)、レクリエーションルーム(定員45名)</p>
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 平成3年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>②指定管理料(直近3か年) 令和4年度337,675千円、令和5年度320,000千円、令和6年度320,500千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 149,458人(前年度142,070人) ・利用件数 15,569件(前年度14,916件) ・稼働率 97.9%(前年度96.3%) <p>◇業務実施状況</p> <p>▶主催事業業務 今年度は、37事業95回的主催事業を展開した。市民からの根強い人気がある「駅前寄席」「武蔵浦和シネマ」等は、観客動員数も高く、例年評価の高い事業になっている。事業の中でも特筆するものとして、今年度初めて実施した浦和大里小学校への出前講座「キャップアートプロジェクト」は、地域施設間通しの交流を深めるものとして、また、恵まれない世界の子どもたちにワクチンを届けるという社会貢献を果たす事業として結果を残せた。その他にも、高齢化社会を反映させたものとして、「親子3世代で楽しむコンサート」を開催した。家族の絆の大切さを表現できる事業として開催し、市民から心温まるご意見・ご感想を沢山いただいた。</p> <p>▶管理業務 昨年に引き続き、利用状況の回復傾向がコロナ禍より一層顕著であった。例年秋に実施する「利用者満足度調査」でも、総合満足度評価が98.2%という大変高い評価をいただいた。中でも職員への評価及び設備・環境衛生面での評価が高く、利用者が気持ち良くご利用いただけているという証となった。但し、予約システム上の煩わしさを指摘する声も多く、今後の課題として取組みを図っていききたい。</p> <p>②維持管理業務の状況</p> <p>▶保守点検業務の実施と経費縮減対策の実施 平成25年の開設以来、12年目を経過したことによる設備機器においては、経年劣化がいたるところで見受けられ故障が多発した年になった。特に、近年稀にみる猛暑の影響でエアコン関係を中心として故障が多発した。利用者への配慮のため直ぐに修繕を施したが、後追いで次の設備機器の不具合が発生する繰り返しとなり、経費支出面でも大きなものとなった。 令和4年度から始まった資源エネルギーの価格高騰に伴い、引き続き電気料金・電気使用量を中心として縮減を図った。大きくは、契約電力会社の変更を実施し、併せてサウスピア各施設のご協力をいただいた結果、前年度比 電気料金69.2% 電気使用量 99.2%の実績を残せた。電気料金縮減については、大変意義あるものとなった。</p> <p>▶警備業務、清掃業務の実施 警備業務については、日々、人的警備・機械警備の防犯体制業務を強固に行った。駅前の立地ということもあり、多様なトラブルが発生しやすい環境ではあるが、地道な保安業務の実践により、今年度は大きな事故・トラブルもなく成果を残せた。 清掃業務については、環境衛生面を考慮の上、新型コロナウイルス収束後も毎日、アルコール等での除菌液拭きを継続実施した。清掃職員による細部までの日常業務の他、専門業者による機械清掃を行った結果、利用者アンケートより高い評価をいただいた。</p> <p>③その他の業務 昨年度に引き続き、経費縮減を図るため、サウスピア各施設に協力を依頼し、節電推進員を中心にエアコンの運転調整を始めとした電気使用量の縮減を行った。</p>

(6)収支状況	<p>令和6年度の収支状況は以下の通りです。</p> <p>【収入】</p> <table border="0"> <tr> <td>指定管理料</td> <td>320,500千円</td> <td>(前年度 320,000千円)</td> </tr> <tr> <td>文化事業収入</td> <td>1,705千円</td> <td>(前年度 1,978千円)</td> </tr> <tr> <td>その他収入</td> <td>246千円</td> <td>(前年度 270千円)</td> </tr> </table> <p>【支出】</p> <table border="0"> <tr> <td>人件費</td> <td>167,499千円</td> <td>(前年度 162,087千円)</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,717千円</td> <td>(前年度 1,771千円)</td> </tr> <tr> <td>物件費</td> <td>158,792千円</td> <td>(前年度 169,126千円)</td> </tr> </table>	指定管理料	320,500千円	(前年度 320,000千円)	文化事業収入	1,705千円	(前年度 1,978千円)	その他収入	246千円	(前年度 270千円)	人件費	167,499千円	(前年度 162,087千円)	事業費	1,717千円	(前年度 1,771千円)	物件費	158,792千円	(前年度 169,126千円)
指定管理料	320,500千円	(前年度 320,000千円)																	
文化事業収入	1,705千円	(前年度 1,978千円)																	
その他収入	246千円	(前年度 270千円)																	
人件費	167,499千円	(前年度 162,087千円)																	
事業費	1,717千円	(前年度 1,771千円)																	
物件費	158,792千円	(前年度 169,126千円)																	
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>①ピアノが設置してある音楽室利用者から、演奏している姿を確認したいとの要望から、姿見鏡を設置した。</p> <p>②部屋の予約に伴う、大きさが分からないとする意見があるため、HP上に全部屋のサイズ一覧表を掲載し改善を加えた。</p> <p>③主催事業の参加申し込みに電話が通じないとのこと意見が多くあるため、Web申し込みを開始した。</p>																		
(8)その他	<p>経年劣化に伴う猛暑の影響で、エアコンを始めとする設備機器の故障が多発した。修繕費用も高額なものになることから、今後、中長期的な計画値の中で、市民への安心・安全を考慮の上、設備機器に優先順位を付け、市との協議を図りたい。</p>																		

2 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
危機管理への取組み	<p>開設以来初めて南海トラフ地震に被災したことを想定し、武蔵浦和駅周辺帰宅困難者対策訓練及び一時滞在受入れ施設開設訓練を独自に実施した。訓練には市防災課、武蔵浦和駅、サウスピア各施設の協力を得て実施することが出来た。今後、定期的に訓練を実施し、大きな自然災害に備えたい。</p>
職員教育への取組み	<p>企業におけるカスハラ対策の義務化や日常生活におけるサイバー犯罪から身を守る目的として、専門講師による研修会を2回開催した。</p> <p>※1回目「カスタマーハラスメント対処法」、2回目「サイバーセキュリティ講演」</p>
経費縮減への取組み	<p>令和4年度から始まった資源エネルギーの価格高騰に伴い、引き続き電気料金・電気使用量を中心として縮減を図った。大きくは、契約電力会社の変更を実施し、併せてサウスピア各施設のご協力をいただいた結果、前年度比 電気料金69.2% 電気使用量 99.2%の実績を残せた。</p>
主催事業への取組み	<p>施設に行かないと何の事業が開催されているか分からないとする意見が高齢者層の皆様より多くご意見をいただくことから、主力宣伝媒体の「コミセンだより」については、今年度より自治会回覧板・掲示板への配布地域、配布枚数を増やし、情報発信に努めた。</p>

3 評価

(1)指定管理者による評価

<p>①施設運営・・・コロナ禍後、今年度の施設利用状況においては、利用人数・利用件数・利用率とも大変好調であった。主催事業に関しては、HP、コミセンだより、市報他の宣伝媒体に情報発信を積極的に行い、集客率向上に努めた。また、危機管理体制においても創設以来初めて武蔵浦和駅周辺帰宅困難者対策訓練を実施し、関係機関と地域横断的な連携強化を図ることができた。</p> <p>②施設維持管理・・・年間保守点検計画に基づいて、設備機器の維持管理に努めた。突発的な不具合が発生したものについては、市民に影響を及ぼすことなく敏速に対応を施した。また、環境衛生面に関しても、市民アンケートより高い評価をいただいた。一年間大きな事故もなく管理を施せたことは、設備部門、警備部門、清掃部門における相互連携がうまくできたものと評価したい。</p> <p>③経営管理・・・エネルギー資源価格高騰が続く中、経費縮減策として、特に負担割合の高い電気料金に対し契約電力会社を変更する等の対策を講じ、大きく支払額の縮減を果たせた。但し、気候変動による猛暑が経年劣化に伴う設備機器に与える影響も大きく、高額な修繕費用の支出が増える結果となった。今後、設備投資においては、中長期的に改善を図るため、市との協議を進めていきたい。</p>
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部コミュニティ推進課)

総合評価 (B) ※A~D

(1)市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に関する取組

- ・広報誌「コミセンだより」の配布地域、配布枚数を増やし、効果的な広報に努めている。
- ・利用者の要望に対応し、ホームページの更新や新規備品の設置を行っている。
- ・幅広い年代を対象とした事業を実施し、コミュニティ活動の推進を図っている。

(2)経費削減に関する取組

- ・電気供給事業者の見直しにより経費を縮減するとともに、建物内の各施設に節電推進員を引き続き選定し、エアコンの調整や照明等の節電管理に努めている。

(3)適正な管理運営の確保に対する取組

- ・専門講師による研修会を2回開催し、職員の資質向上に努めた。
- ・建物全体の警備業務、設備業務を行っていることから、連携して保安業務に努めている。
- ・新たに「武蔵浦和周辺帰宅困難者対策訓練」を実施し、危機管理体制の強化に努めた。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、施設の適正な管理運営の確保及び市民サービスの向上に努めていただきたい。